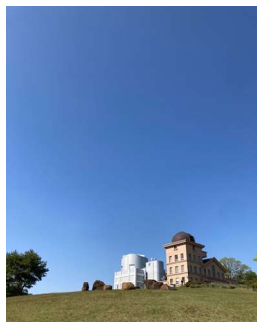


## 自然科学科：スーパーサイエンスキャンプ、課題研究

### ☆ホンモノを見る体験

5月1日、2日、一年生自然科学科でスーパーサイエンスキャンプを実施しました。初日は北淡震災記念公園を訪れ、兵庫県南部地震の際に生じた野島断層を見学しました。明石海峡大橋を通過後は橋の科学館を訪れ、世界一のつり橋のしくみを学びました。夜は西はりま天文台公園で天体観測を実施しました。一般の人が覗ける望遠鏡としては世界最大級のサイズを誇るなゆた望遠鏡を使って、金星や火星の観測を行いました。希望者には、専門的な観測室の見学もさせていただきました。

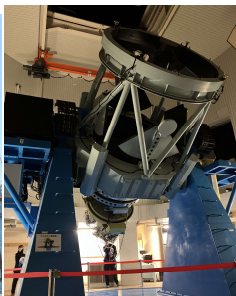
2日目に訪れた人と自然の博物館は『人と自然の共生』がテーマの自然史博物館です。学芸員の方による講義や展示見学を通して、幅広く自然科学の知見を得ることができました。教室での学びでは体験できない“ホンモノ”を見て、感じ、考えることのできた貴重な時間でした。



西はりま天文台公園



明石海峡大橋



なゆた望遠鏡



人と自然の博物館

### ☆生徒の感想

- ☆どの施設・講義にしても、もっと時間が欲しかった。それだけ興味をもてたということだろう。
- ☆見たことのないものがたくさんあったし、詳しい説明を聞いた。断層・橋・星にはたくさんの方が関わっていて、これから残していくことで役立てることを待っているのかなと思った。
- ☆こうやって実物を見て、やっぱりネットで見たものよりも鮮明に見えたり、分かりやすかった。
- ☆(人と自然の博物館のキノコ展示をみて) 同じキノコでもその個性は多種多様なことを考えると、それだけ色々な自然環境があるということなので、想像するだけで楽しくなってきました。
- ☆施設の人や先生、友達にもいろんなことを教えてもらって、知識だけでなく好奇心が増した。

☆(天文台の)講演で他の星に生物がいるかもしれないと言っていて、すごくロマンを感じたので研究したいなと思いました。

☆サイエンスキャンプに行って「自然」と関わって考えることができたと思います。

☆新しく多くのことを知ったことによってもっと疑問が生まれて、これが探究ってことだと思った。

### ☆二年生自然科学科：GS 探究Ⅱ

二年生自然科学科のGS 探究Ⅱでは、物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれて、課題研究がスタートしています。今はまだ、これからどのような研究を行うのか、それぞれにテーマを検討している段階です。課題研究の醍醐味の一つは、自分たちで研究テーマを設定することにあります。みなさんの興味・関心を大切に、オリジナルな研究を進めていってください。



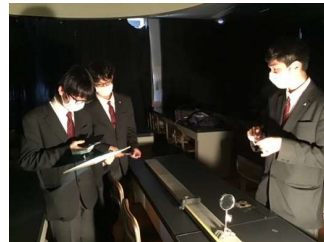
物理



化学



生物



地学



数学



### ☆センス・オブ・ワンダー

センス・オブ・ワンダーとは、自分が見たり聞いたり、感じたりしたことの中から、ふとした疑問が湧いたり、不思議の感覚をもつ能力のことをいいます。同じものを見たとしても、そこに疑問や課題を発見できる人は、センス・オブ・ワンダーに長けているのかもしれないね。

茨城県結城市立江川北小学校4年生の宇賀持琴音(うがもちことね)さんは、手や指にけがをした時に、ばんそうこうを貼っていました。しかし、テープ部分とガーゼ部分が接触して上手く貼ることができずにいました。母親にテープの片方をはさみで切って貼ってもらっていたところ、「じゃあ、最初から半分なければいいのに!」と気づいたそうです。琴音さんの発明したばんそうこうは2022年世界青少年発明工夫展日本代表に選ばれ、銅賞を受賞しました。みなさんも、日常の中のふとした疑問を大切にしてみてください。思わぬ発見があるかもしれません。

